



Title	未来共創 8号 目次
Author(s)	
Citation	未来共創. 2021, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83892
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

未来共創

Mirai Kyoso: Journal of Collaborative Future Creation

2021

VOLUME
8

目次

発刊にあたって 湿美公秀 001

•

論文

米国に住む「日本人ゲイ」により語られる物語／語りに関する研究

—どのように自身の性的マイノリティ性と人種・民族的マイノリティ性について物語るのか
富安皓行 003

性暴力被害とトラウマを再考する

—新自由主義とポストフェミニズムの観点から 井上 瞳 031

•

特集 レジリエンス

特集にあたって—コロナ時代に考える「レジリエンス」 木村友美、織田和明 064

人間のレジリエンスとナラティヴ 日高直保 069

人類進化におけるレジリエンス 中野良彦 085

レジリエンスについて災害研究を通して考える 湿美公秀 109

医療とレジリエンス 小笠原理恵、モハーチ・ゲルゲイ 123

•

フォーラム「共生／共創の多角的検討」

共生／共創の多角的検討—1

違和感とフラストレーションを起点とした協同的オートエスノグラフィー

片田真之輔、大川ヘナン、なかだこうじえんりけ 145

共生／共創の多角的検討—2

「共同翻訳」から始まる共生/共創—上辺だけではない議論と実践のために

桂悠介、佐々木美和、八木景之 177

•

研究ノート

- 介護予防・日常生活支援総合事業における利用者の活動と社会資源
—地域のなかの通所型サービスを事例として 寺村 晃 209
- 私立大学Aにおける留学生の防災力に関する研究
—日本人学生と比較して 高 誉文 233
- パレスチを巡る占領政策の一考察
—集団的懲罰としての連座刑の視点から 島本奈央 253
-

報告

- 未来共生プログラム コミュニティ・ラーニング2020報告
あの日から10年、野田村の想い
—改めて考える岩手野田村でのフィールドワーク 石塚裕子、渥美公秀 275
- コロナ時代に考える多文化共生—まなびのカフェのイベントを通じて
小笠原理恵、木村友美、坂口ピーター、ゼア・ローズ、
クラウディア・エリウス・オセゲダ・フィグロア 292
- G30プログラムと共に創の場を目指すために 中野良彦 308
- マイノリティ教育ラボ 活動報告
コロナ禍における学生のボランティア活動
秋山みき、砂原なごみ、田岡里彩、中西美裕、井上温子 318
-

書評

- 平野晋『ロボット法—AIとヒトの共生にむけて』 池田健人 330
- Asad Haider, *Mistaken Identity: Race and Class in the Age of Trump*
安藤歴 334
- 東畑開人『居るのはつらいよ—ケアとセラピーについての覚書』 富安皓行 338
-

エッセイ

- “環境先進国”の見えない代償 岩根あずさ 342
- がんとの共生 石藏文信 346
- 死に方との共生 山中浩司 350
- 「共生のジャーナリズム」考 脇阪紀行 354
-
- 編集後記 木村友美 359